

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

| | | | | | | | |
|----------------------------|---|-----------------|------------|---|----------------|----------------|--------------|
| 事業名 | 独立行政法人雇用・能力開発機構運営費 | | 担当部局 | 厚生労働省 | | 作成責任者 | |
| 事業開始・終了(予定)年度 | 平成15年度～平成23年度 | | 担当課室 | 職業能力開発局総務課 | | 総務課長土屋喜久 | |
| 会計区分 | 労働保険特別会計雇用勘定 | | 施策名 | Ⅱ-1-4 多様な職業能力開発の機会を確保する | | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | <ul style="list-style-type: none"> 独立行政法人雇用・能力開発機構法 雇用保険法第63条第1項第1号、第2号、第4号、第5号、第7号等 中小企業労働力確保法第7条第1項 雇用保険法の一部を改正する法律(平成19年法律第19号)附則第6条等 職業能力開発促進法第16条第1項 独立行政法人雇用・能力開発機構法を廃止する法律 | | 関係する計画、通知等 | <ul style="list-style-type: none"> 第9次職業能力開発基本計画 独立行政法人雇用・能力開発機構中期目標 雇用・能力開発機構の廃止について(平成20年12月24日閣議決定) | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 労働者の有する能力の有効な発揮及び職業生活の充実を図るため、公共職業能力開発施設の設置及び運営や雇用管理の改善に対する援助等の業務を行うとともに、勤労者の計画的な財産形成の促進の業務を行うことにより、職業能力の開発及び向上、良好な雇用の機会の創出その他の雇用開発並びに勤労者の生活の安定を図り、もって労働者の雇用の安定その他福祉の増進と経済の発展に寄与することを目的とする。 | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | 独立行政法人雇用・能力開発機構法第11条の規定に基づき実施する離職者訓練、在職者訓練、学卒者訓練、指導員の養成等の財源の一部に充てるための同機構に対する運営費交付金の交付 | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | |
| 予算額・執行額 (単位:百万円) | | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度要求 | |
| | 予算の状況 | 当初予算 | 72,955 | 61,946 | | | |
| | | 補正予算 | | | 24,337 | | |
| | | 繰越し等 | | | | | |
| | | 計 | 72,955 | 61,946 | 24,337 | | |
| | 執行額 | 72,955 | 61,946 | 24,337 | | | |
| 執行率(%) | 100% | 100% | 100% | | | | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値(21～23年度) |
| | ○離職者訓練 ・離職者訓練(施設内訓練)修了者の訓練修了後3ヶ月時点の就職率 ※平成23年度については、平成24年1月までに修了した訓練までの実績を速報値として記載している。 | 成果実績 | % | 79.0 | 82.6 | 84.1 | 80.0 |
| | | 達成度 | % | 98.8 | 103.3 | 105.1 | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値(21～23年度) |
| | ○在職者訓練 ・在職者訓練の受講者に対してアンケート調査を実施し、80%以上の者から職業能力の向上に役立った旨の評価が得られるようにする | 成果実績 | % | 98.3 | 98.6 | 98.7 | 80.0 |
| | | 達成度 | % | 122.9 | 123.3 | 123.4 | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値(21～23年度) |
| | ○在職者訓練 ・在職者訓練の受講を指示した事業主に対してアンケート調査を実施し、80%以上の者から職業能力の向上に役立った旨の評価が得られるようにする | 成果実績 | % | 97.6 | 97.5 | 97.6 | 80.0 |
| | | 達成度 | % | 122.0 | 121.9 | 122.0 | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値(21～23年度) |
| | ○学卒者訓練 ・訓練修了者の訓練修了後1ヶ月時点の就職率 | 成果実績 | % | 96.5 | 97.6 | 98.1 | 95.0 |
| | | 達成度 | % | 101.6 | 102.7 | 103.3 | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値(21～23年度) |
| | ○指導員の養成等 ・養成訓練の指導員就職率(就職率) ※指導員就職率とは、公共職業訓練施設及び認定職業訓練校に指導員として就職した率 | 成果実績 | % | 41.4(94.8) | 38.7(99.4) | 48.0(98.3) | — |
| | | 達成度 | % | — | — | — | |
| 成果目標及び成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値(21～23年度) |
| | ○指導員の養成等 ・指導員研修受講者の研修目的の達成感について | 成果実績 | % | 92.4 | 93.7 | 92.4 | — |
| | | 達成度 | % | — | — | — | |
| 活動指標及び活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度活動見込 |
| | ○指導員の養成等 ・調査・研究報告書送付延べ箇所数 | 活動実績 (当初見込み) | 件 | 1,807 (—) | 2,113 (—) | 3,804 (—) | — (—) |
| 単位当たりコスト | | 決算終了後に算出予定 | | 算出根拠 | — | | |

| 平成24・25年度予算内訳 | 費目 | 24年度当初予算 | 25年度要求 | 主な増減理由 |
|---------------|----|----------|--------|--|
| | — | — | — | 独立行政法人雇用・能力開発機構運営費交付金は、「独立行政法人雇用・能力開発機構を廃止する法律」により平成23年10月1日をもって雇用・能力開発機構が廃止されたことに伴い廃止され、職業能力開発業務は高齢・障害・求職者雇用支援機構の職業能力開発勘定として移管されたところ。 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 計 | 0 | 0 | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|-------------------------|---|---------------------------------------|--|
| | 評価 | 項目 | 評価に関する説明 |
| 目的 状況・ 予算の | ○ | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構法第14条に規定された業務を行っている。 |
| | ○ | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。 | 法人の業務の財源に充てるために必要な交付金であり、国が予算措置する必要がある。 |
| | — | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | — |
| 資金の 流れ、 費目・ 使途 | — | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | — |
| | ○ | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | 中期計画に基づき設定された効率化の目標はいずれも達成している。 |
| | — | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | — |
| | ○ | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | 広く一般競争入札を行うなどにより競争性を確保している。 |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | 費目・使途は職業能力開発業務に必要なものに限定されている。 |
| 活動実績、 成果実績 | — | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | — |
| | ○ | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | 中期計画に基づき設定された目標はいずれも達成している。 |
| | ○ | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | 目標に対する成果実績の達成度はいずれも100%を超えている。 |
| | — | 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか | — |
| | | ※類似事業名とその所管部局・府省名 | |
| | ○ | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | 中期計画に基づき設定された目標の達成により、整備された施設や成果物は十分活用されている。 |
| 点検結果 | <p>・「独立行政法人雇用・能力開発機構を廃止する法律」により、雇用・能力開発機構は平成23年10月1日をもって廃止され、業務や施設を徹底してスリム化した上で、職業能力開発業務は高齢・障害・求職者雇用支援機構に移管されたところであるが、独立行政法人通則法等に基づき、中期目標・中期計画の設定や、独立行政法人評価委員会における業務の実績に関する評価を実施した。</p> | | |

予算監視・効率化チームの所見

— —

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)

— —

補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)

〈事業番号/事業名〉

事業仕分け第1弾

事業番号 2-3

事業名 (独)雇用・能力開発機構運営費交付金等

〈結果〉

見直しを行う

〈とりまとめコメント〉

○この機構に関しては廃止が決まっているが、それを前提として業務の見直しをしてほしい。とりわけ、まだまだ業務のスリム化ができる。都道府県や民間への委託についても、職業能力開発促進センター(ポリテクセンター)ありきではなく、様々なオプションがある。

職業能力開発・訓練などを、担える団体は、県、大学、高専、民間企業など多い。

○職業能力開発総合大学校については、時代のニーズにも合わなくなってきており、廃止を含め検討。大学校の在り方によっては、広大な土地が不要になるので資産売却を進めるべき。

○廃止は前提だがさらなる合理化を進めてほしい。

行政刷新会議事業仕分けWGにおける雇用・能力開発機構に関するヒアリングに対する厚生労働省のスタンスは以下のとおり。

雇用・能力開発機構の方向性について、11月10日に、長妻大臣から、

(1)雇用・能力開発機構の平成22年度予算について、21年度予算1,074億円を953億円で要求しているところであるが、更なる見直しで859億円まで削減すること

(2)平成23年度の高齢・障害・求職者雇用支援機構(仮称)への業務移管の際には、平成21年度予算1,074億円の半減を行い、543億円とすること

(3)平成23年度の高齢・障害・求職者雇用支援機構(仮称)への業務移管の際に、職員を約2割削減すること

を内容とするスリム化した案を厚生労働省自らが示して、行政刷新会議WGのヒアリングに臨むこととの指示があった。

これに対して、行政刷新会議WGからは様々な厳しい指摘や意見が寄せられた。これらの趣旨は、もっとスリム化して業務を縮小させるという方向であり、長妻大臣からの指示と基本的に同じ方向性と認識している。

平成21年度決算検査報告不当事項

「物品の購入等に係る経理が不当」

(概要)独立行政法人雇用・能力開発機構の9都道府県センター等において、虚偽の内容の関係書類を作成するなど不適正な会計経理を行って物品の購入等を行っていたもの。

(対応)会計規程等を遵守した適正な会計経理に係る職員の意識改革、自主点検の実施、内部の監査機能等の強化など適正な会計経理の徹底に向けた改善の取組を行っている。また、関係職員に対しては、既に処分が行われている。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年行政事業レビュー

0821

平成23年行政事業レビュー

0821

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
24,337百万円
(執行額:23,796百万円)
(未執行額:541百万円)

〔 運営費交付金の交付 〕



A. (独)雇用・能力開発機構
23,796百万円

〔 独立行政法人雇用・能力開発機構法第11条の規定に基づく離職者訓練、在職者訓練、学卒者訓練、指導員の養成等 〕



B. 一般勘定
23,591(百万円)

〔 職業能力開発に関する業務
雇用開発に関する業務 〕

C. 財形勘定
205(百万円)

〔 勤労者の財産形成に関する業務 〕



D. 職業能力開発業務
8,454(百万円)

〔 ・公共職業訓練の実施、事業主等の行う職業訓練の援助等 〕



E. 雇用開発業務
420(百万円)

〔 ・雇用管理に関する相談等 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

| A.(独)雇用・能力開発機構 | | | E.雇用開発業務 | | |
|----------------|-----------------------------|-------------|-------------|----------------------------------|-------------|
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 人件費 | 人件費 | 14,056 | 業務費 | 雇用管理に関する相談等 | 420 |
| 物件費 | 本部運営費(本部の賃借料(保守・光熱水量を含む)など) | 866 | | G.(株)フォース 外 420(百万円) | |
| 業務費 | 職業能力開発に関する業務 | 8,874 | | | |
| | F. 大阪府 外 8,454(百万円) | | | ・建設雇用改善助成金システム 蓄積データ引き渡し等業務 等 | |
| | | | | | |
| | ・公共職業能力開発施設の設置に要する土地借料 等 | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 23,796 | 計 | | 420 |
| B.一般勘定 | | | F.大阪府 外 | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 人件費 | 人件費 | 13,936 | 土地借料 | 職業能力開発施設(関西職業能力開発促進センター)等の敷地の賃借 | 137 |
| 物件費 | 本部運営費(本部の賃借料(保守・光熱水量を含む)など) | 781 | | | |
| 業務費 | 職業能力開発に関する業務 | 8,874 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 23,591 | 計 | | 137 |
| C.財形勘定 | | | G.(株)フォース 外 | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 人件費 | 人件費 | 120 | 雑役務費 | 建設雇用改善助成金システム蓄積データ引き渡し等業務 | 4 |
| 物件費 | 本部運営費(本部の賃借料(保守・光熱水量を含む)など) | 85 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 205 | 計 | | 4 |
| D.職業能力開発業務 | | | H. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 業務費 | 職業能力開発に関する業務 | 8,454 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 8,454 | 計 | | 0 |

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|--------------|---------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | (独)雇用・能力開発機構 | 離職者訓練、在職者訓練、学卒者訓練、指導員の養成等 | 23,796 | | |

B.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|--------------|-------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | (独)雇用・能力開発機構 | 職業能力開発に関する業務、雇用開発に関する業務 | 23,591 | | |

C.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|--------------|----------------|--------------|------|-----|
| 1 | (独)雇用・能力開発機構 | 勤労者の財産形成に関する業務 | 205 | | |

D.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|--------------|---------------------------|--------------|------|-----|
| 1 | (独)雇用・能力開発機構 | 公共職業訓練の実施、事業主等の行う職業訓練の援助等 | 8,454 | | |

E.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|---|--------------|-------------|--------------|------|-----|
| 1 | (独)雇用・能力開発機構 | 雇用管理に関する相談等 | 420 | | |

F.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|----------------|--|--------------|------|-------|
| 1 | 大阪府 | 職業能力開発施設(関西職業能力開発促進センター)等の敷地の賃借 | 137 | 随意契約 | |
| 2 | 京都府 | 職業能力開発施設(京都職業能力開発促進センター)等の敷地の賃借 | 127 | 随意契約 | |
| 3 | 静岡県 | 職業能力開発施設(静岡職業能力開発促進センター)等の敷地の賃借 | 108 | 随意契約 | |
| 4 | 近江八幡市 | 職業能力開発施設(滋賀職業能力開発短期大学校)等の敷地の賃借 | 90 | 随意契約 | |
| 5 | 富士通リース(株) | 訓練用機器(3次元CAD/CAMシステム・電子計算機システム(関東職業能力開発大学校)一式)の賃借 | 73 | 2 | 95.6% |
| 6 | 秋山ユアビス建設(株) | 敷地処分に係る基盤整備工事 | 61 | 不落随契 | |
| 7 | NTTファイナンス(株) | 訓練用機器(3次元CAD/CAMシステム・電子計算機システム(北海道職業能力開発大学校)一式)の賃借 | 60 | 不落随契 | |
| 8 | 日立キャピタル(株) | 訓練用機器(3次元CAD/CAMシステム(高度職業能力開発促進センター)一式)の賃借 | 43 | 1 | 99.1% |
| 9 | 東京センチュリーリース(株) | 訓練用機器(3次元CAD/CAMシステム(島根職業能力開発短期大学校)一式)の賃借 | 42 | 不落随契 | |
| 10 | 日本電子計算機(株) | 訓練用機器(3次元CAD/CAMシステム(高知職業能力開発短期大学校)一式)の賃借 | 40 | 不落随契 | |

G.

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|--------------|----------------------------|--------------|------|-------|
| 1 | (株)フォース | 建設雇用改善助成金システム蓄積データ引き渡し等業務 | 4 | 1 | 91.6% |
| 2 | (株)中井工務店 | あいりん日雇労働者就職援護施設整備作業 | 1 | 随意契約 | |
| 3 | (株)テクノル 青森支店 | コピー機保守料 | 1 | 随意契約 | |
| 4 | (財)寿町勤労者福祉協会 | 寿町日雇労働者就職援護施設の震災被害調査に係る費用 | 1 | 随意契約 | |
| 5 | アイム(株) | YOUR STAGE作成 | 0 | 随意契約 | |
| 6 | 株式会社 島根県農協印 | 平成23年度企業支援施策ガイドブック | 0 | 随意契約 | |
| 7 | (株)昭和堂 | 「平成22年度雇用管理改善のためのガイドブック」作成 | 0 | 随意契約 | |
| 8 | 松坂法律事務所 | 建設雇用改善助成金損害賠償請求事件弁護士報酬 | 0 | 随意契約 | |
| 9 | 郵便事業(株) | 後納郵便料(郵便計器使用分) | 0 | 随意契約 | |
| 10 | 北大阪清掃(株) | あいりん日雇労働者就職援護施設備品廃棄作業 | 0 | 随意契約 | |